

河川整備実施状況と 流域内のその他の事業

平成21年3月9日(月)
一宮川流域委員会事務局

1. 一宮川河川整備計画(案)の概要

2

一宮川水系の河川整備計画(案)では、今後の河川工事を行う場所を定めています



一宮川の河川整備計画(案)は平成16年1月23日に開催された「第4回 一宮川流域委員会」において了承されています。

この計画では以下の区間で河川工事を行うこととしています。

- ①一宮川 : 河口から瑞沢川合流点 (拡幅・築堤・掘削) L=7,040m
- ② " : 東橋から八千代橋 (掘削) L=4,300m
- ③豊田川 : 一宮川合流点から酒盛橋 (掘削) L=2,340m
- ④瑞沢川 : 古宿橋から女ヶ堰 (築堤・掘削) L=2,400m
- ⑤長楽寺川 : 森長橋から長楽寺堰 (築堤・掘削) L=1,100m
- ⑥鶴枝川 : 一宮川合流点から鶴枝橋上流 (築堤・掘削) L=3,900m

2. 事業実施状況

3

これまで一宮川水系で行われてきた河川工事は、激特事業を筆頭に災害関連が多い

現在は、目標を定めた計画のもとに河川改修を実施中

課題

- ・ 上流部は自然のまま
- ・ 拠点的な環境整備



これまで一宮川で行われてきた河川工事は、災害を契機として実施してきた区間が多かったのが特徴です。このため、被災箇所の復旧や同じ規模の洪水が再度生じたときの災害防止が主でしたが、現在は目標を定めた計画のもとに河道の整備を進めています。しかし、下流から進めざるを得ませんので、上流部では自然のままの区間が残っています。

また、洪水を安全に流すことを主にしてきましたので、河川環境の整備では拠点的に実施してきた状況です。

河川名	事業名	年度	事業内容
一宮川	広域河川改修事業〔基幹〕	昭和48年～現在実施中	河川改修延長 7,040m (河口～瑞沢川合流点)
	住宅市街地基盤整備事業	平成4年～現在実施中	延長 3,200m (新一宮大橋～松海堰上流)
	河川激甚災害対策特別緊急事業(平成元年激特)	平成元年～平成5年	第一調節池(鶴枝川合流点下流) 第二調節池(三途川合流点下流)
	河川激甚災害対策特別緊急事業(平成8年激特)	平成8年～平成12年	河道改修(築堤・河床掘削) 瑞沢川・阿久川調節池
三途川	災害関連事業	昭和38年～昭和48年	河川改修(豊田川合流点～砂田橋)
	災害関連事業	昭和48年～昭和50年	河川改修延長 1,751m (駒塚橋～日栄橋)
豊田川	災害関連他事業	昭和38年～昭和47年	河川改修(一宮川合流点～群界橋)
	災害復旧助成事業	昭和50年～昭和53年	河川改修延長 1,100m (群界橋～原田橋)
阿久川	小規模河川改修事業	昭和38年～昭和48年	河川改修延長 2,000m (富士見橋～豊田橋)
	局所改良事業	不明～昭和51年	河川改修(一宮川合流点～富士見橋)
	災害復旧助成事業	昭和52年	河川改修延長 820m (豊田橋～獅子吼橋)
瑞沢川	県単河川改良事業	昭和49年～現在実施中	河川改修延長 3,900m (一宮川合流点～鶴枝橋上流)
	小規模河川改修事業	昭和42年～昭和57年	河川改修延長 2,400m (一宮川合流点～植生川合流点)
	小規模河川改修事業	昭和58年～昭和83年	河川改修延長 1,280m (植生川合流点～古宿橋)
	広域河川改修事業	平成元年～現在休止	河川改修延長 2,400m (古宿橋～女ヶ堰)
長楽寺川	県単河川改良事業	平成10年～現在実施中	河川改修延長 1,400m
	災害関連事業	昭和45年	河川改修延長 1,777m (瑞沢川合流点～長楽寺川合流点)
	災害助成事業	昭和48年	河川改修延長 2,423m (長楽寺川合流点～一ヶ竜橋下流)
	災害関連事業	昭和61年	河川改修延長 1,080m (一ヶ竜橋下流～小生田川合流点)
長生村	災害関連事業	平成元年	河川改修延長 1,040m (小生田川合流点～森川橋下流)
	災害関連事業	平成元年	河川改修延長 540m (宮川橋下流～森長橋)
大多喜町	県単河川改良事業	平成3年～現在実施中	河川改修延長 1,100m (森長橋～長楽寺堰)

一般事業
 災害

2. 事業実施状況(一宮川下流部)

4



現在の一宮川下流部における河川改修事業は次の2つの事業で行われています。

事業名：広域河川改修事業

(河口～瑞沢川合流点・L=7040m)

住宅市街地基礎整備事業

(新一宮大橋～新松潟堰・L=3200m)

現在、住宅市街地基礎整備事業を主な事業として、JR外房線から新松潟堰までの区間を重点的に進めています。

広域河川改修事業では右岸の護岸・掘削、および左岸の用地買収を行っています。

主な工事

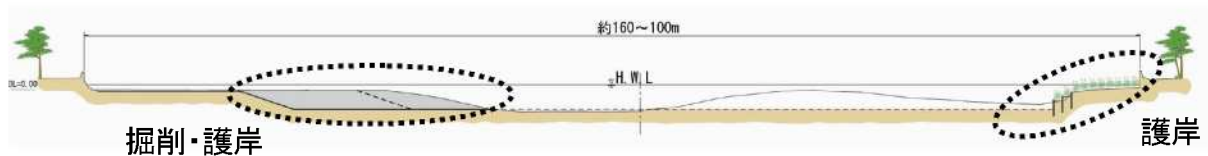
護岸
掘削

実施状況

① 親水護岸の整備



計画断面



一宮川の河口から新一宮大橋までの区間（1）が完了しています。

この区間は砂の堆積により河口閉塞の可能性がありますが、これまでは大きな出水が生じるとフラッシュ現象が認められており、河口閉塞による大きな障害は生じていません。しかし、長生第一排水機場付近には部分的な土砂堆積が生じることから、河川維持による土砂撤去を行っています。

① 親水護岸の整備



凡 例	
■ (黒)	整備完了
■ (赤)	整備中
■ (緑)	整備予定

一宮川の河口から新一宮大橋までの区間(1)では、新一宮大橋下流右岸側に親水護岸(階段護岸)を整備し、多くの釣り人に親しまれています。

主な工事

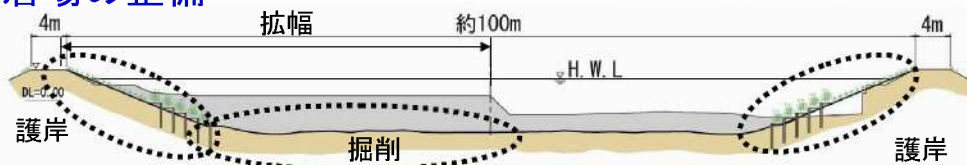
河道拡幅
(現況50m→100m)
護岸
掘削

実施状況

- ① 河道掘削
(一宮大橋～JR線左岸側)
- ② 護岸工事
(中之橋～新生橋)
- ③ 船着場の整備



計画断面



新一宮大橋からJR外房線までの区間(2)の河川工事は左岸側への河道拡幅, 護岸, 掘削を行ってきました。

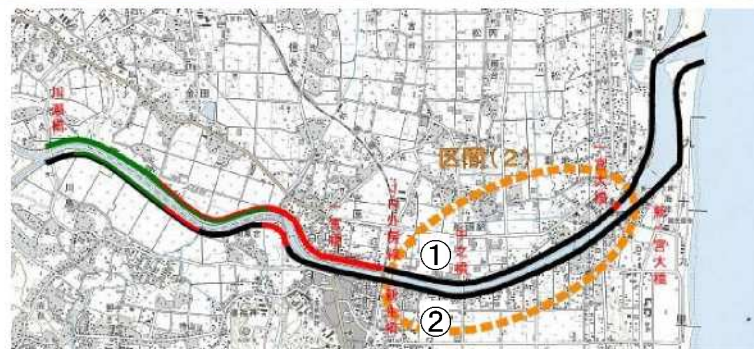
現在, 概ね工事は終了しています。

右岸においては, 新一宮大橋から中之橋間で「ふるさとの川づくり事業」によって松並木や遊歩道(延長1,330m)が整備されています。また, 中之橋から上流新生橋までの区間(600m)では, 景観に考慮した緩傾斜護岸を整備しました。

① 河道の掘削(左岸)



② 緩傾斜護岸の整備(右岸)



上の写真①は中之橋から上流を望んだ写真で、拡幅による河道の掘削が行われました。写真②は同じく中之橋上流右岸側での護岸整備（緩傾斜護岸 1 : 2.5）の様子ですが、本年度で完了の予定です。

③ 船着場の整備



新一宮橋の上流右岸側にはポンポン船等のための船着場を整備しました。